

謹賀新年



組合員の皆様方におかれましては、輝かしいお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年が皆様方にとって良き年でありますよう心よりご祈念申し上げます。日ごろは組合事業活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り衷心より感謝し厚くお礼申し上げます。



昨年は元日から能登半島地震に始まり、阪神大震災を知る我々にとって復興への道のりの遠さを痛感し、酪農同志の早期復旧と復興を切に願うばかりです。

我々酪農業界にとっても依然と続く配合飼料並びに粗飼料価格の高騰や畜産関連資材、水道光熱費の値上げや、販売子牛や廃用牛価格の暴落を受けて大変厳しい状況に変わりはなく回復を見ることはできておりません。そうした中で、国や県から多くの支援を頂戴し、組合としても微力ながら対策を講じてまいりました。生乳取引価格も実施されましたが、経済不況の波がさらにこれを上回る状況であり焼け石に水となっております。牛乳需要も値上げに呼応する形で若干消費を落とす状況となっております。我々としては牛乳消費理解醸成を早急に対応することが喫緊の課題となっております。



生乳生産状況は11月時点累計で前年対比103.2%増産を維持継続しており、兵庫県全体としては100.5%と近畿の生乳供給は需要を安定的に満たせるようになりつつあります。



組合としては、昨年4月よりブックローン神戸ビル西館3階へ新事務所を移転し心機一転気持ち新たに組合運営・事業をスタートいたしました。広く消費者に対しハイクオリティミルクに対する理解醸成を目的とした構想の実現などを積極的に取り組んでいきたいと思っております。

しかしながら、酪農を取り巻く環境は厳しい状況が続くと予想されます。組合員の皆様と力を合わせ、生乳生産基盤・畜産業の復活・拡大を目指し、生産者として自信を持ち、誇れる生乳の生産に向け尚一層皆様のご理解とご協力を得ながら役職員一同一丸となり精進してまいりたいと存じます。

巳年は、これまで努力してきたことが実を結びはじめの年だといわれています。また、蛇は脱皮をすることから、「復活と再生」を連想させ、新たな挑戦や変化に前向きになるといわれています。古来、蛇は信仰の対象となっており、谷神、豊穰神、天候神などとして崇められてきました。このことから、前向きに力強く勢いを増し新たな組合として生産者と乳牛と共に酪農業発展の為尽力してまいります。

令和7年1月吉日



ハイクオリティミルク農業協同組合
丸尾建城

